

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第30週 >

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている /
その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.7-8

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2012年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.9-15

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています / インフルエンザ



感染症の話
P.16

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(30週)
P.17-22



30週のデータ
P.23-35



発生動向総覧

< 第30週コメント > 8月2日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核384例

3類感染症

細菌性赤痢1例 菌種: *S. boydii*(C群)__感染地域: 福島県

腸管出血性大腸菌感染症115例(有症者81例、うちHUS 5例)

感染地域: 国内112例、韓国1例、インドネシア1例、国内・国外不明1例

国内の多い感染地域: 愛知県12例、福岡県9例、北海道7例、岩手県7例、宮城県6例、埼玉県6例、新潟県5例、兵庫県5例、千葉県4例、東京都4例、三重県4例、神奈川県3例、鹿児島県3例、福島県2例、栃木県2例、群馬県2例、石川県2例、大阪府2例、熊本県2例、宮崎県2例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(2例)、2歳(4例)、3歳(7例)、4歳(6例)、5歳(3例)、6歳(3例)、7歳(1例)、8歳(3例)、9歳(2例)、10代(16例)、20代(23例)、30代(11例)、40代(9例)、50代(9例)、60代(5例)、70代(8例)、80代(1例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(40例)、O157 VT2(25例)、O26 VT1(11例)、O157 VT不明(7例)、O103 VT1(5例)、O111 VT1(3例)、O157 VT1(3例)、O26 VT不明(2例)、O103 VT1・VT2(2例)、O103 VT不明(2例)、O121 VT2(2例)、O121 VT不明(2例)、O111 VT1・VT2(1例)、O111 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O165 VT1・VT2(1例)、その他・不明(7例)

累積報告数: 1,367例(有症者866例、うちHUS 32例、死亡2例)

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 三重県1例__感染源: 不明

感染地域: 国内(都道府県不明)1例__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 福井県

チクングニア熱2例

感染地域: カンボジア1例、ベトナム/カンボジア/タイ1例

つつが虫病1例 感染地域: 青森県
 デング熱4例 感染地域: フィリピン2例、カンボジア1例、スリランカ1例
 日本紅斑熱1例 感染地域: 広島県
 マラリア2例 熱帯熱1例__感染地域: ウガンダ
 原虫種不明1例__感染地域: インド

レジオネラ症18例(肺炎型18例)
 感染地域: 北海道2例(2例温泉)、埼玉県2例(うち1例温泉)、富山県2例、山口県2例、神奈川県1例(温泉)、三重県1例、京都府1例(温泉)、兵庫県1例、広島県1例、国内(都道府県不明)3例、国内(都道府県不明)韓国1例、韓国1例(温泉)
 年齢群: 40代(1例)、50代(4例)、60代(6例)、70代(5例)、80代(1例)、90代(1例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 国内(都道府県不明)__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢9例(腸管アメーバ症7例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 北海道1例、東京都1例、神奈川県1例、富山県1例、国内(都道府県不明)3例、タイ1例、中国/台湾/インド1例
 感染経路: 経口感染3例、性的接触2例(異性間1例、同性間1例)、経口感染/性的接触(異性間・同性間不明)1例、不明3例

ウイルス性肝炎1例 B型__感染経路: 性的接触(異性間)
 急性脳炎1例 単純ヘルペスウイルス__年齢群: 70代
 クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例
 年齢群: 30代(2例 .うち1例死亡)、70代(1例)、80代(1例 .死亡)

後天性免疫不全症候群18例(AIDS 4例、無症候12例、その他2例)
 感染地域: 国内13例、タイ1例、国内・国外不明4例
 感染経路: 性的接触15例(異性間6例、同性間9例)、不明3例

ジアルジア症1例 感染地域: ネパール

梅毒12例(早期顕症I期3例、早期顕症II期4例、晩期顕症2例、無症候3例)

破傷風3例 年齢群: 40代(1例)、70代(2例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例
 遺伝子型: *VanA* 1例__菌検出検体: 腹水
 遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液1例、胆汁1例
 遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 便

風しん108例(検査診断例79例、臨床診断例29例)
 感染地域: 東京都29例、大阪府15例、兵庫県15例、千葉県7例、神奈川県5例、沖縄県3例、愛知県2例、滋賀県2例、広島県2例、福島県1例、埼玉県1例、長野県1例、三重県1例、京都府1例、奈良県1例、岡山県1例、高知県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)19例

年齢群: 1歳(2例)、2歳(1例)、3歳(1例)、5~9歳(3例)、10~14歳(3例)、15~19歳(7例)、20~24歳(17例)、25~29歳(19例)、30~34歳(13例)、35~39歳(15例)、40代(20例)、50代(5例)、60代(2例)

累積報告数: 917例(検査診断例680例、臨床診断例237例)

麻疹10例〔麻疹(検査診断例3例、臨床診断例2例)、修飾麻疹(検査診断例5例)〕

感染地域: 東京都3例、福島県2例、埼玉県2例、広島県1例、国内(都道府県不明)2例

年齢群: 1歳(3例)、3歳(1例)、30~34歳(1例)、35~39歳(3例)、40代(2例)

累積報告数: 201例〔麻疹(検査診断例108例、臨床診断例49例)、修飾麻疹(検査診断例44例)〕

遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ): 55例

D4: 5例__感染地域: 千葉県1例、東京都1例、東京都/ベトナム1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例

D8: 37例__感染地域: 愛知県19例、千葉県5例、岐阜県3例、山梨県2例、都道府県不明6例、タイ1例、タイ/カンボジア1例

D9: 8例__感染地域: 岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、フィリピン1例

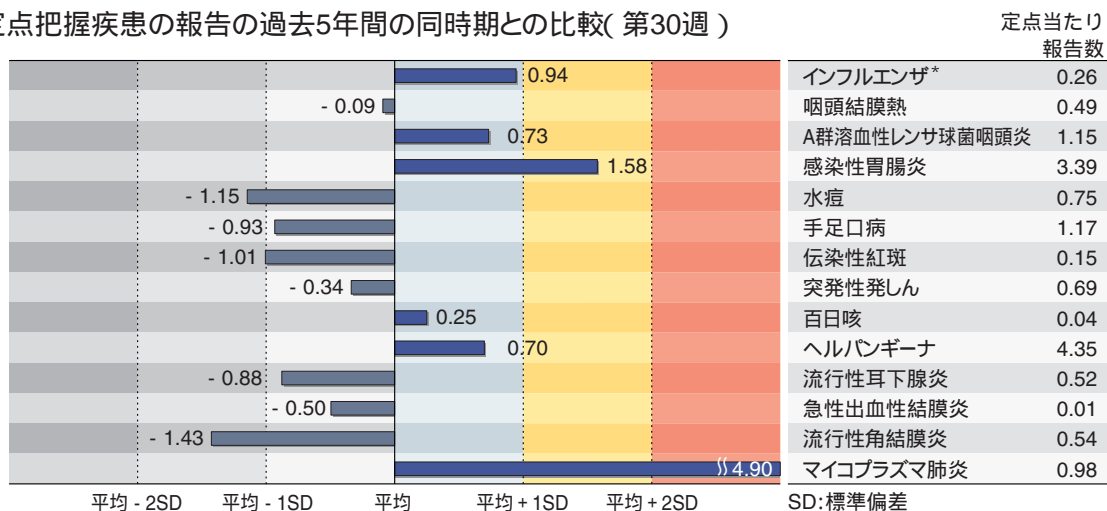
H1: 5例__感染地域: 福島県4例、台湾1例

(補) 2012年第29週までに診断されたものの報告遅れとして、コレラ1例(感染地域: インド)、E型肝炎1例(感染地域: 北海道__感染源: 不明)、日本紅斑熱4例(感染地域: 三重県2例、和歌山県1例、島根県1例)、レジオネラ症1例〔感染地域: 静岡県(温泉)〕、レプトスピラ症1例(感染地域: 沖縄県__感染機会: 川)、急性脳炎4例〔ヒトヘルペスウイルス6型2例__年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)〕、単純ヘルペスウイルス1型1例__年齢群: 0歳、RSウイルス1例__年齢群: 0歳〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代)、梅毒1例(先天梅毒)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第30週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(19.83)、鹿児島県(0.22)、新潟県(0.19)、福岡県(0.13)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は609例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鹿児島県(1.25)、福井県(1.00)、熊本県(0.85)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別では北海道(2.31)、愛媛県(2.30)、山形県(2.00)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第22週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では大分県(6.7)、島根県(5.9)、宮崎県(5.7)が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では徳島県(1.57)、北海道(1.22)、山形県(1.17)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では新潟県(11.32)、青森県(6.95)、福井県(6.05)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では岩手県(0.93)、岐阜県(0.51)、高知県(0.50)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(0.19)、高知県(0.13)、沖縄県(0.12)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では東京都(7.60)、宮崎県(7.22)、和歌山県(6.97)が多い。

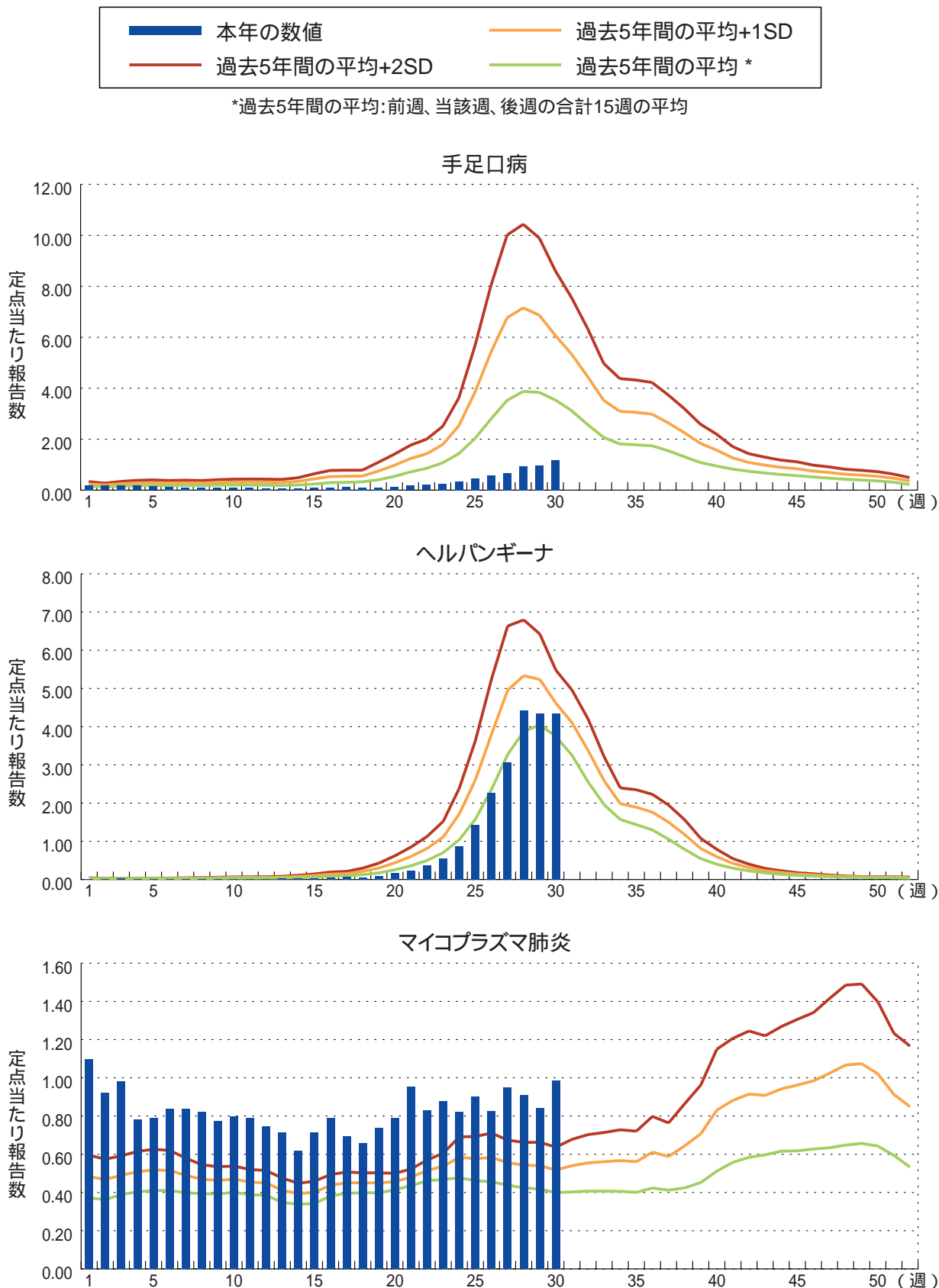
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では大分県(1.69)、宮崎県(1.40)、岩手県(1.33)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(4.57)、群馬県(3.75)、福島県(2.86)、愛知県(2.57)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第30週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

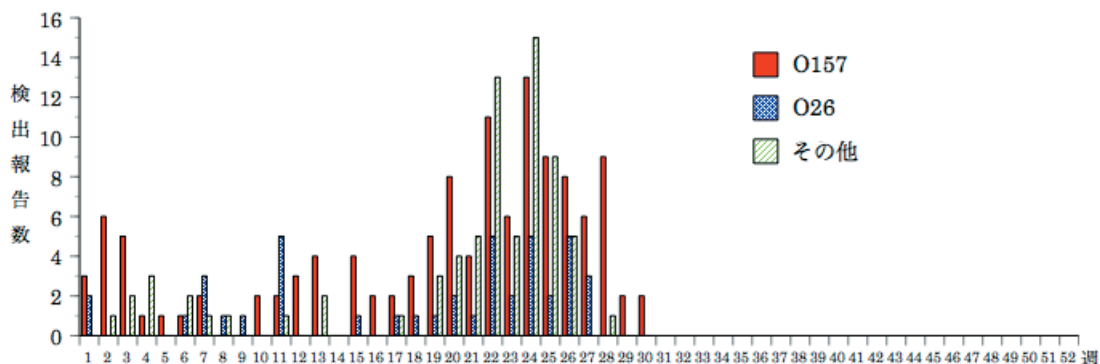
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年8月2日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2012年

2012年第1 ~ 30週までに散发例、家族内感染例、集団発生例からの検出が240件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2012年 (病原微生物検出情報：2012年8月2日現在報告数)



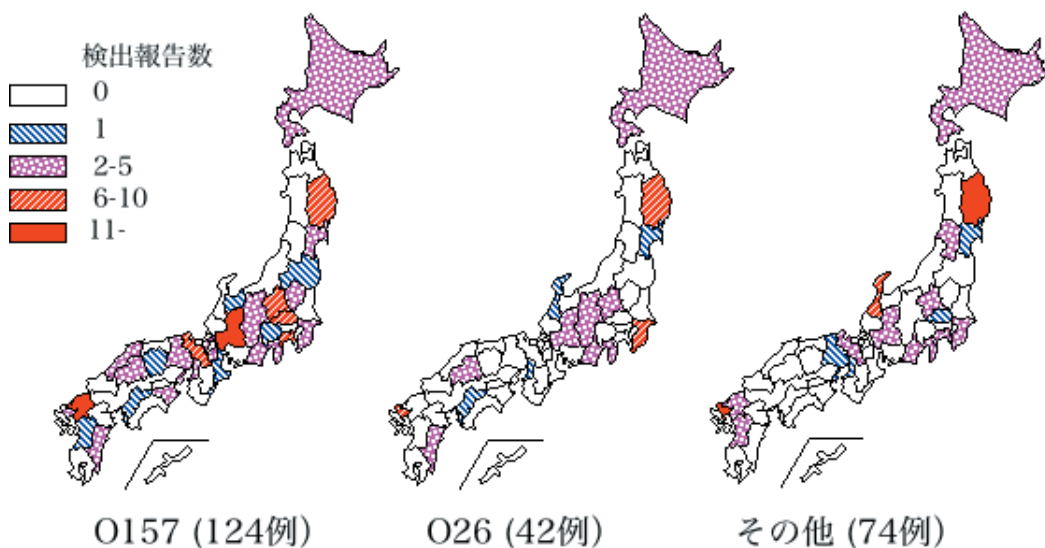
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2012年1～7月にO157が28道府県から124件、O26が14道府県から42件、その他の血清型が17道府県から74件報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2012年

(病原微生物検出情報：2012年8月2日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した



EHEC/VTEC検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1524-iasrgb.html>
を参照ください。

EHEC/VTEC検出速報集計表は

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1525-iasrb.html>
を参照ください。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています(更新1)

2012年8月1日 WHO(AFRO)

ウガンダ西部のキバレ(Kibaale)でエボラ出血熱が発生しています。初発患者は、キバレの Nyamarunda地域のNyanswiga村で発見されました。

2012年8月1日に公表されたWHOとCDCの情報によりますと、ウガンダ保健省は、2012年7月31日現在、患者数が38人になり、そのうち16人が死亡したと報告しています。確定診断はエンテベ(Entebbe)にあるウガンダウイルス研究所で行われました。

ウガンダ保健省は、国の対策本部で毎日の進展を調査し、連日、メディアに情報提供を行っています。キバレでも、実地対応を調整するために対策本部が設置されています。また、近隣の地区では、集団感染について高い警戒態勢が敷かれ、サーベイランスが強化されています。

対応を支援するために、保健省、WHO、米国CDC、国境なき医師団、赤十字社の専門家がキバレに派遣されています。確定患者や疑い患者に接触があった可能性のある人は追跡調査を行うために特定されています。患者管理を支援するために必要な物品の供給や後方支援が行われています。

キバレ病院では疑い患者や確定患者を隔離するための臨時隔離病棟が設置されました。現在、18人が隔離病棟に入院しています。オランダの国境なき医師団が、病院の隔離病棟を設置するために必要な物資を提供しています。保健省とムラゴ(Mulago)病院は隔離病棟を管理するためのスタッフを動員していますが、さらに多くの人員が必要です。

WHOは集団感染に対応している保健省を支援しています。現在、WHOは疫学者を派遣し、個人防護具などの物資を提供しています。さらに多くの専門家が派遣される予定です。

既に、積極的な患者発見、接触者の調査、サーベイランスの強化、感染予防対策の強化、社会動員、調整会議の開催といった感染拡大を防ぐ活動が行われています。

WHOはウガンダへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

インフルエンザ - 更新165

2012年8月3日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域のほとんどの国では、毎週のインフルエンザのデータ報告をやめているか、シーズンオフのサーベイランススケジュールに移りました。
- ・熱帯地域では、アメリカ大陸のブラジル、キューバ、エクアドル、エルサルバドル、パナマ(インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型)、サハラ以南のアフリカ大陸のガーナ、マダガスカル(インフルエンザA(H3N2))、アジアの中国南部、シンガポール、ベトナム(中国とベトナムではインフルエンザA(H3N2)); シンガポールではインフルエンザA(H3N2)、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザB型)で著しいインフルエンザの活動性が報告されています。
- ・南半球の温帯地域のほとんどの国では、インフルエンザシーズンが続いています。チリと南アフリカでは、ピークに達したようで、最近、多くの指標が減少し始めています。対照的に、アルゼンチンでは、最近数週間の検出数は非常に少数です。オーストラリアとニュージーランドでは増加し続けています。
- ・南半球の温帯地域のチリ、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランドで、最近数週間に検

出された主な亜型はインフルエンザA(H3N2)でした。しかし、オーストラリアでは地域によってばらつきがあり、西オーストラリア州、ノーザンテリトリー、クイーンズランドで検出されるウイルスのかなりの割合をインフルエンザB型が占めています。パラグアイ、ブラジル南部、ボリビアでは、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されています。

【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域でのインフルエンザの伝播を報告しているすべての国で、インフルエンザの伝播は、ほぼシーズンオフの水準です。

最近、米国のインディアナ州で、豚由来の変異型インフルエンザA(H3N2)の集団発生があり、5人の確定患者が報告されました。いずれの患者も、豚との接触歴があり、回復しています。5人のうち4人のレポートはCDCのMMWRに掲載されています。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

中米、カリブ海諸国、南米の熱帯地域の数か国では、インフルエンザの伝播が活発になっていると報告されています。

中米では、エルサルバドルで、インフルエンザA(H1N1)pdm09が検出される水準が過去10週間、増加し続けています。インフルエンザB型も非常に少数ですが、7月中旬以降、検出されています。その他の国では、パナマで、6月上旬にインフルエンザウイルスの検出が著明に増加し始めたことを報告しており、ウイルスの検出数は少ないですが、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されています。

カリブ海諸国では、キューバとジャマイカでインフルエンザB型の検出報告が続いており、過去6週間で増加しています。

南米の熱帯地域では、主に、ブラジル、エクアドル、ボリビアでインフルエンザの伝播が報告されており、コロンビアとペルーでは、低い伝播が続いています。ブラジルでは、過去数週間、主に南部と東南部で、インフルエンザの活動性が増加していると報告されています。しかし、7月中旬以降、重症急性呼吸器感染症(SARI)の患者数やインフルエンザに関連した死亡者数、インフルエンザウイルスの検出数は減少しており、ピークに達したことを示しています。ブラジルは、今年、SARI患者の21%(11,232人中2,347人)からインフルエンザが検出されたと報告しており、そのうちの75%(1,762人)はインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスでした。また、SARIで死亡した患者の28%(860人中244人)でインフルエンザが検出されており、そのうちの86%(244人中210人)がインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスでした。外来のインフルエンザ様疾患(ILI)検体のうち、インフルエンザB型ウイルスの検出数は、インフルエンザA型ウイルスの検出数に比べて非常に少数です。インフルエンザB型は、主に15歳から59歳の年齢層で報告されており、他の年齢層ではほとんどありませんでした。エクアドルでは、過去6週間から8週間以上、インフルエンザB型の検出数が着実に増加しています。7月の第3週では、解析された検体の36%(45検体中16検体)から呼吸器疾患を起こすウイルスが陽性になり、ブラジルとは対照的に、ほとんどがインフルエンザB型でした(16検体中13検体)。エクアドルでは、2012年の年初以降、入院したSARI患者の29%(1,157人中330人) 集中治療を必要としたSARI患者の44%(67人中30人) SARIで死亡した人の51%(39人中20人)でインフルエンザが検出されています。Cenetropのデータによれば、ボリビアのサンタクルスでは、ウイルスの伝播は6月にピークを迎えた後、減少していることを示しており、7月の第4週は21検体が解析されましたが、インフルエンザの陽性率は9.5%でした。この

期間に検出された主なインフルエンザはインフルエンザA(H1N1)pdm09で、同定されたインフルエンザの90%以上を占めました。コロンビアとペルーでは、過去8週間以上、非常に少数のインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の検出が続いています。

・ サハラ以南のアフリカ

アフリカ西部では、ガーナで、6月上旬以降、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の伝播が報告されています。インフルエンザA(H3N2)の伝播は、インフルエンザB型の出現より数週間先行しており、現在はピークに達したようです。マダガスカルでは、前回、高い水準でインフルエンザA(H3N2)の伝播を報告しましたが、最近数週間で減少し始めたようです。未確認の報道で、ジンバブエ保健省の担当官が、最近、インフルエンザA(H3N2)が広範囲に伝播していると示唆しています。

・ アジアの熱帯地域

アジアの熱帯地域では数か国で、最近、インフルエンザウイルスの伝播が著明であり、特に、中国南部、シンガポール、ベトナムで著しいです。インドでは、インフルエンザの伝播は3月から4月にピークに達した後、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がほぼ同じ割合で、少数検出されています。スリランカでも、3月から4月のピークはありませんでしたが、同様の割合で検出されています。中国南部では、7月16日から22日の週に、国の定点機関を受診したILIの患者の割合は3.5%であり、過去4週間増加傾向が続いています。全体的に、中国南部での過去8週間のILIの報告は、前年の同時期に比べて若干高いです。1,024検体が検査され、309検体(29.9%)がインフルエンザ陽性となっており、過去6週間から8週間にかけて増加傾向が続いています。インフルエンザが陽性になった検体のうち、306検体(99.0%)がインフルエンザAであり、すべてインフルエンザA(H3N2)でした。香港では、以前にインフルエンザの活動性が高い水準であると報告されましたが、最近数週間は減少し続けています。インフルエンザによる入院患者数、インフルエンザに関連した死亡者数、救急外来を受診したILI患者数、インフルエンザの集団感染事例数は、すべて低い水準となり、7月26日現在、衛生防護センター(Centre for Health Protection)は重症のインフルエンザに対する強化型サーベイランスをやめています。例年に比べて長いインフルエンザシーズンは終わり、入院患者数と死亡者数の水準は、過去2年間に比べて、著しく高い結果となり、主にインフルエンザA(H3N2)ウイルスに関連していました。東南アジアでは、ベトナムで、インフルエンザA(H3N2)の伝播が6月下旬にピークに達した後、減少し始めています。カンボジアとラオスは、ともに、ベトナムと同時期にピークを迎えた後、インフルエンザA(H3N2)の伝播は低い水準であると報告しています。シンガポールでは、7月15日から21日の週に、急性呼吸器感染症(ARI)の活動性が前週に比べて増加しており、警戒水準を超えています。総合病院のARI患者のうち、ILI患者の占める割合は1%と低いものの、過去4週間に検査された152検体のうち36%(暫定値)がインフルエンザ陽性でした。2012年6月に採取された検体で、インフルエンザが特定されたもののうち、インフルエンザA(H3N2)が46%、インフルエンザB型が30%、インフルエンザA(H1N1)pdm09が25%でした。

中国の国立インフルエンザセンターは、7月の第3週に、102株のインフルエンザA(H3N2)ウイルスの抗原解析を行い、すべて、A/Perth/16/2009-likeに抗原的に類似していました。しかし、2011年10月1日から2012年7月22日までに解析された2,350株のうち、1,764株(75%)はA/Perth/16/2009に抗原的に類似していましたが、586株(25%)はA/Perth/16/2009に対して産生される抗血清の力価が低下していました。同時期に亜型解析を行った50株のインフルエンザ

A(H1N1)pdm09のうち、45株(90%)がA/California/7/2009-likeに抗原的に類似していましたが、5株(10%)はA/California/7/2009-likeに対して産生される抗血清の力価が低下していました。7月の第3週にインフルエンザA(H3N2)2株とインフルエンザB型ウイルス21株の抗ウイルス薬に対する耐性検査が行われ、すべてノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。また、2011年10月1日以降検査されているインフルエンザA(H1N1)pdm09はすべてノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域では、ほとんどの国でインフルエンザの活動性が続いていると報告されています。

・南米の温帯地域

南米の南回帰線以南の地域のインフルエンザの活動性は、チリではピークに達し、減少し始めており、アルゼンチンでは依然として低く、パラグアイで増加し続けています。

チリでは、7月上旬以降、初めてILIの活動性が減少したと報告しており、ILIの受診率は人口10万人あたり14.5でした。インフルエンザと確定診断されたSARIの患者数も二週間前の報告から減少しました。チリで検出されたインフルエンザウイルスはほとんどがインフルエンザA(H3N2)でした。チリでは、RSウイルスも著しく増加しており、ILIとSARI患者の大部分を占めています。アルゼンチンのインフルエンザの検出数は、依然として少数です。ILIとSARI患者数は高い水準にあり、RSウイルスの検出はピークに達し、6月上旬以降、減少しています。アルゼンチン北部で検出されるインフルエンザウイルスは少数ですが、その大部分はインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。パラグアイとブラジル南部との国境地域では、数週間、インフルエンザA(H1N1)pdm09が広範囲に伝播しています。パラグアイでは、ILIの受診率が著明に増加し、過去3年間に比べて増加していますが、多くはRSウイルスに関連しています。集中治療を必要としたSARI患者の割合は、7月上旬の前週に比べて著しく増加したと報告されました。SARI患者の検体で、呼吸器感染症を起こすウイルスが検出されたもののうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09が20%を占め、インフルエンザB型が17%を占めました。2012年に呼吸器感染症を起こすウイルスが確認されたSARIによる死亡者(12人)のうち、9人(75%)からインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されました。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに流行しています。全体として、ウイルスの検出は6月中旬以降減少しています。インフルエンザが陽性になったSARI患者の検体のうち、多くはインフルエンザA(H3N2)ウイルスでした。ザンビアでは、インフルエンザB型とインフルエンザA型(亜型不明)が少数検出されました。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリアとニュージーランドは、現在、インフルエンザシーズンに入っています。オーストラリアでは、最近の報告期間以降、インフルエンザの活動性は増加し続けており、すべてのサーベイランスシステムで、その傾向が反映されています。ほとんどすべての地域で、流行閾値を超えた広範囲の活動性が報告されています。国全体では、過去2週間に報告されたインフルエンザの確定患者は4,174人で、その前の2週間の報告に比べて約2倍になりました。例年に比べる

と(2009年を除く) ILI患者の受診率は早期に増加しており、現在の受診率は2010年と2011年の季節性インフルエンザのピーク時より高くなっています。

2つのサーベイランスシステムにより、入院患者のデータが報告されています。FluCAN(インフルエンザの合併症を警戒するネットワーク)では、2012年4月7日以降、インフルエンザと確定された入院患者のうち、9%が集中治療室に入院しました。全体として、患者の20%がインフルエンザB型によるもので、ほとんどが、インフルエンザB型が主に検出されているノーザンテリトリーとクイーンズランド州から報告されました。一方、他の地域ではインフルエンザA型が多く検出されています。患者の約40%は65歳以上(中央値は55歳)で、約70%に合併症がありました。入院例の年齢分布は、0歳から9歳と、70歳以上にピークがある二峰性であると報告されています。

2012年は、これまで、NNDSS(国の届出疾患サーベイランスシステム)により、インフルエンザに関連した死亡は8人報告されており、年齢の中央値は76歳(年齢幅は51歳から90歳)でした。いずれの患者もインフルエンザA型(亜型不明)に感染していたと報告されており、おそらく、A(H3N2)によるものと考えられています。ニューサウスウェールズ州では、2012年6月15日までの死亡登録データで、人口10万人あたり1.63の肺炎またはインフルエンザに関連した死亡が報告されており、この時期は流行閾値の10万人対1.65をわずかに下回っています。

国全体では、インフルエンザA(H3N2)が優勢で、インフルエンザB型も流行しています。この報告期間にNNDSSに報告された4,174人のインフルエンザ患者のうち、3,610人(86%)がインフルエンザA型で、519人(12%)がインフルエンザB型で、45人(2%)がインフルエンザA型とB型の重複感染または型別不明と報告されました。亜型の情報があるインフルエンザA型ウイルスのうち、797人(97%)がインフルエンザA(H3N2)、25人(3%)がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした(インフルエンザA型のうち2,788人は亜型不明です)。しかし、型や亜型の分布は、地域によって異なります。ノーザンテリトリーではインフルエンザB型が64%で、西オーストラリア州ではインフルエンザB型が41%でした。一方、タスマニア州ではインフルエンザが検出された検体のうち、インフルエンザA型が94%(172検体のうち162検体)を占めました。

2012年1月1日から7月9日までに、WHOの協力センターで亜型が解析されたオーストラリアのインフルエンザウイルスは441株でした。ほとんどのインフルエンザA(H3N2)は2012年に南半球で使用されている季節性インフルエンザワクチンに含まれるインフルエンザA(H3N2)の株とは異なる系統ですが、ワクチンはまだよく効くと考えられます。また、2つのインフルエンザB型の系統が同時に流行しています。インフルエンザB型の大部分はビクトリア系統で、現在使用されているワクチンに含まれる系統です。成人では、他の系統(山形系統)にもいくらかの交差免疫がありますが、小児ではほとんどありません。

ニュージーランドでは、ILIの受診率は、3週間連続で流行閾値を超えており、1週間の受診率は、人口10万人あたり108.5でした。国全体で、ILI患者の検体が702検体集められ、そのうち34%(241検体)でインフルエンザウイルスが陽性でした。そのうち、インフルエンザA(H3N2)が64%(155検体)を占めています。これとは対照的に、2012年7月15日から22日までの間にSHIVERS(南半球のインフルエンザとワクチンの効果の研究、サーベイランスの計画)によって検査されたSARI患者の49検体のうち、13検体(27%)がインフルエンザウイルスが陽性で、そのうち62%(8検体)をインフルエンザA(H1N1)pdm09が占めており、インフルエンザA(H3N2)は1検体で検出されたのみです。ニュージーランドで流行しているインフルエンザA(H3N2)は、大きな抗原連続変異を起こしてはいないようです。現在、抗原解析の結果では、南半球で使用されているワクチンに含まれているA/Perth/16/2009-likeと抗原的に類似しています。

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています(更新2)

2012年8月3日 WHO(GAR)

2012年8月3日に公表されたWHOの情報によりますと、ウガンダ保健省は、患者数が53人になり、そのうち16人が死亡したと報告しています。このうち、5人確定診断はエンテベ(Entebbe)にあるウガンダウイルス研究所で行われました。(3人は死亡者で、2人は現在隔離病棟で治療中です。)

現在、32人がキバレのカガディ(Kagadi)病院の隔離病棟に入院し、合計312人が接触者として確認されました。そのうちの253人が綿密に経過観察されています。

これまでに他の地区で採取された検体が検査されましたが、いずれの検体もエボラ出血熱は陰性でした。これはキバレからの感染拡大はみられていないことを示しています。しかし、キバレの患者を治療のためにカンパラのムラゴ(Mulago)病院に搬送した医療スタッフが、その後死亡しています。

ムラゴ病院に死亡者を搬送した7人の医療スタッフは接触者として毎日監視されていますが、これまでのところ発症した人はいません。

< 対応について >

ウガンダ政府はこのアウトブレイクを制御するため、協力機関と共に対応を続けています。

中央レベルでは、総理大臣はアウトブレイクの対応を促進し、調整するため保健大臣を議長とした閣僚級の対策本部を招集しました。

キバレでは、地元の保健当局が、資源や物品の供給を動員するため協力機関と対策本部を通じて取り組んでいます。協力機関にはWHO、米国CDC、ウガンダ赤十字社、国境なき医師団(MSF)が含まれています。WHOはウガンダへ個人防護具を含めた物資の提供を行っています。

実地対応のための必要な資金が動員されており、地元のNGOであるEMESCO財団やキバレの国会議員、感染症研究所(IDI)、ウガンダ赤十字社から追加支援がなされています。

WHOや米国CDCの疫学専門家はキバレに到着し、エボラ出血熱の症例のトリアージやスクリーニングの対応をサポートしています。WHOはGOARN(Global Outbreak Alert and Response Network)の協力機関と調整しています。

MSFの支援を受けて、キバレのカガディでは新たな隔離施設が建設され、今日にも完成が期待されており、新たに建設された病棟は増加した疑い症例の入院に使用される予定です。MSF、IDI、EMESCOは隔離病棟の入院患者へ食料を提供し、2週間先まで提供されることが決まりました。

地域の積極的なサーベイランスや接触者調査のため、さらなる人員と救急車が必要であるため、地元当局が調整しています。

社会的動員について、ウガンダ赤十字社は62のボランティアチームを訓練し、村の保健チームは社会動員と啓発活動を行っています。さらに国民への情報提供は、20のラジオ局で、11言語で実施されています。WHOはこれらの活動を支援するために医療人類学者を活用しています。

< 近隣諸国について >

ウガンダに隣接する各国は、エボラ出血熱の患者の発見と対応のため監視を強化しています。

ケニアでは、2人の疑い症例が報道されましたが、いずれも陰性でした。

南スーダン保健省は、WHOと共同で一般国民へのガイダンスを発行し、南スーダンとウガンダ間の人口移動や貿易の高いことを踏まえ、監視強化に着手するための国家対策本部を設置しま

した。

WHOはウガンダへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

ウガンダでエボラ出血熱が発生しています(更新3)

2012年8月6日 WHO(AFRO)

2012年8月6日に公表されたWHOアフリカ地域事務所の情報によりますと、ウガンダ保健省は、疑い患者数が59人になり、そのうち16人が死亡したと報告しています。10人の確定診断はエンテベ(Entebbe)にあるウガンダウイルス研究所で行われました。このうち、6人は急性期の患者で、4人は回復期にある患者です。

現在、36人がキバレのカガディ(Kagadi)病院の隔離病棟に入院し、このうち29人は回復期の病棟で、まもなく退院予定です。

合計398人が接触者として確認されました。84人は21日間の観察期間を終え、292人はまだ綿密に経過観察されています。

これまでに他の地区で採取された検体が検査されましたが、いずれの検体もエボラ出血熱は陰性でした。

キバレの患者を治療のためにカンパラのムラゴ(Mulago)病院に搬送した医療スタッフが、その後死亡しています。ムラゴ病院に死亡者を搬送した7人の医療スタッフは接触者として毎日監視されていますが、経過観察16日目の時点で発症した人はいません。

このことはキバレからの感染拡大はみられていないことを示しています。

キバレのカガディでは、MSFの支援により新たな隔離施設が建設されました。エボラ出血熱が陰性の回復期にある患者のための病棟が使用可能となりました。回復期の患者は退院にむけて、心理社会的な支援を受けています。WHOは患者が帰宅後、安心して社会生活が送れるよう支援しています。

< 近隣諸国の対応 >

ウガンダに隣接する各国は、エボラ出血熱の患者の発見と対応のため監視を強化しています。

ケニア、ルワンダ、南スーダン、タンザニアでは疑い患者の調査を行っています。ケニアとルワンダでは疑い患者を調査し、エボラ出血熱を除外しました。

ケニア政府と南スーダン政府は、一般国民へのガイダンスを発行し、監視強化に着手するための国家対策本部を設置しました。

タンザニアでは疑い患者の調査が続いています。

WHOはウガンダへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。



感染症の話

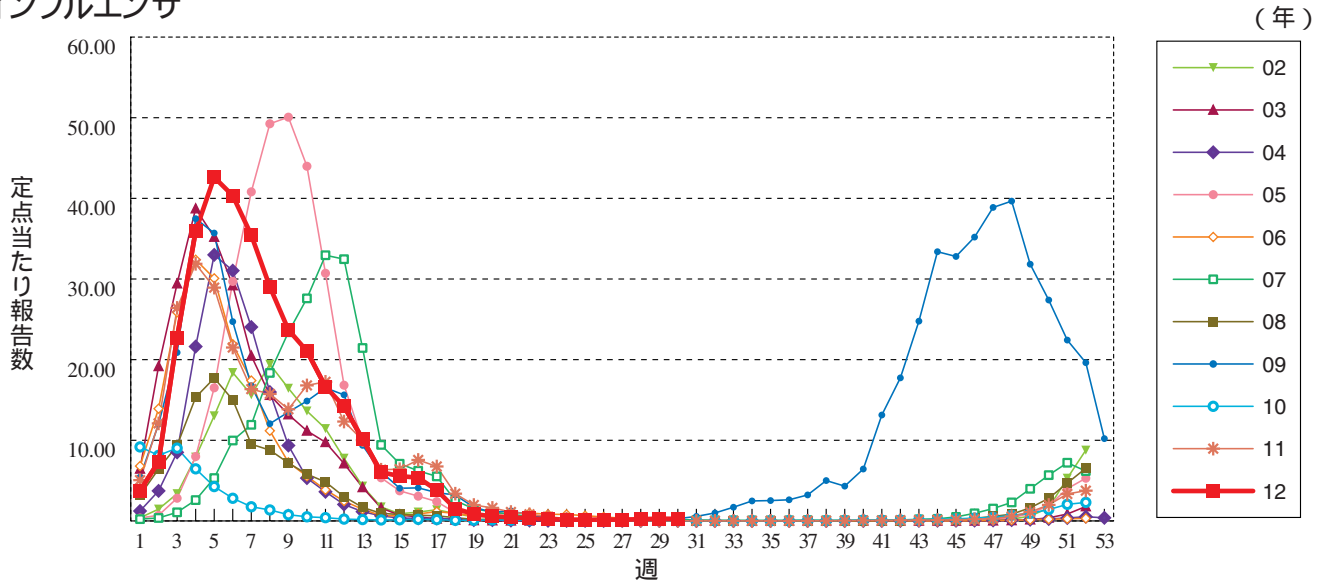
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

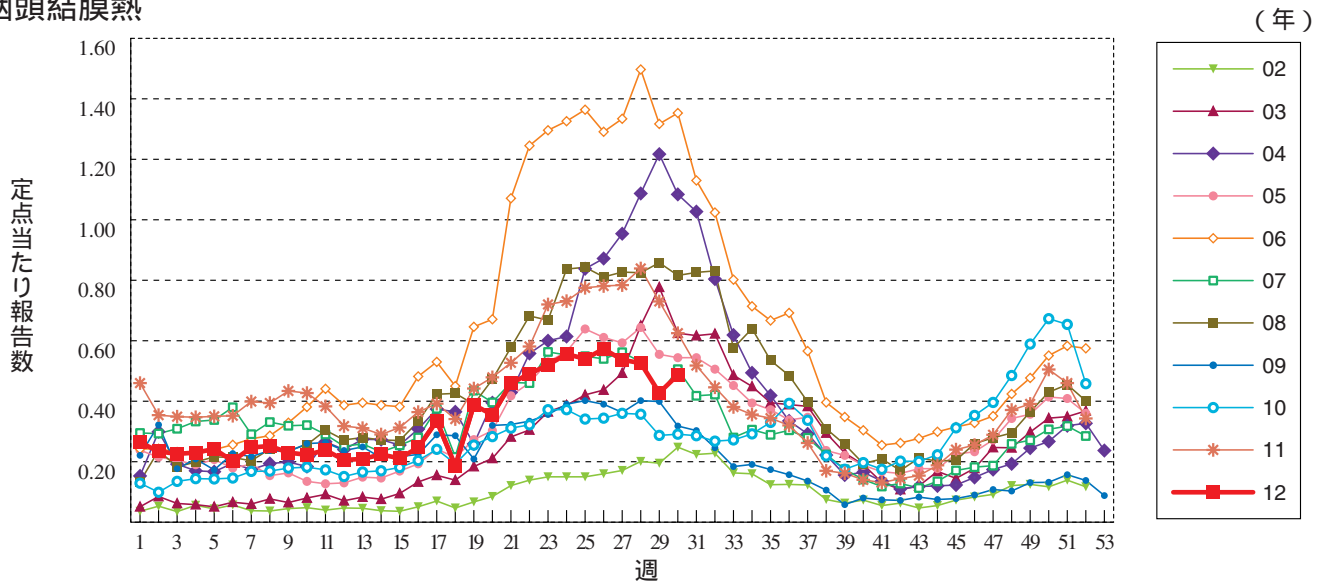


グラフ総覧(30週)

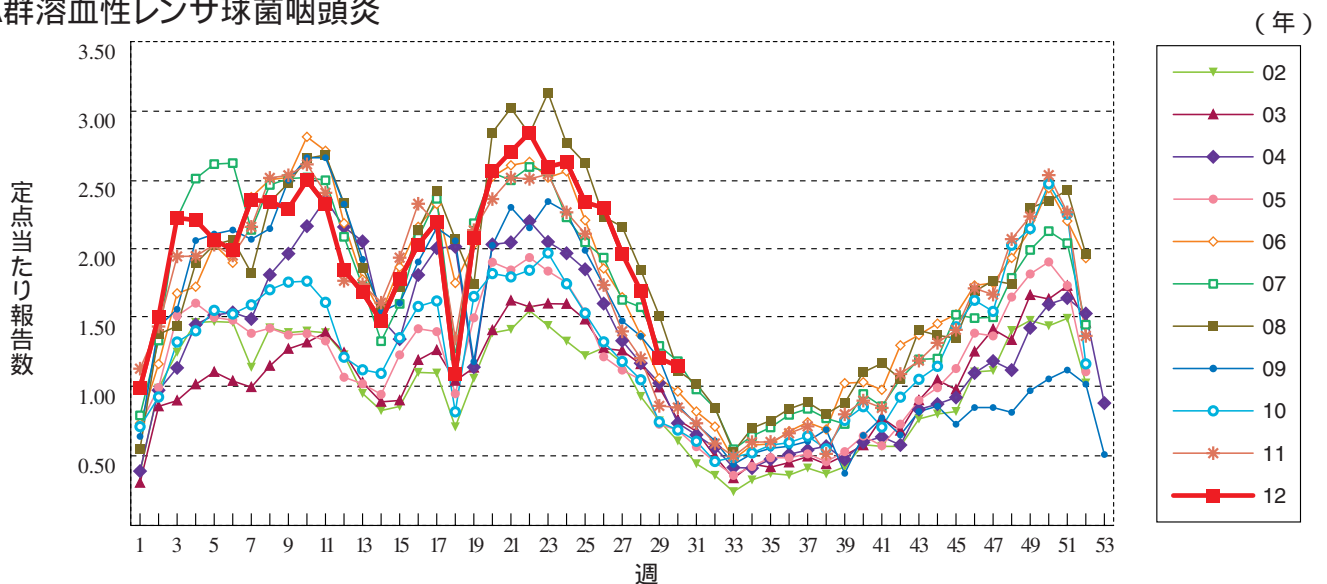
インフルエンザ



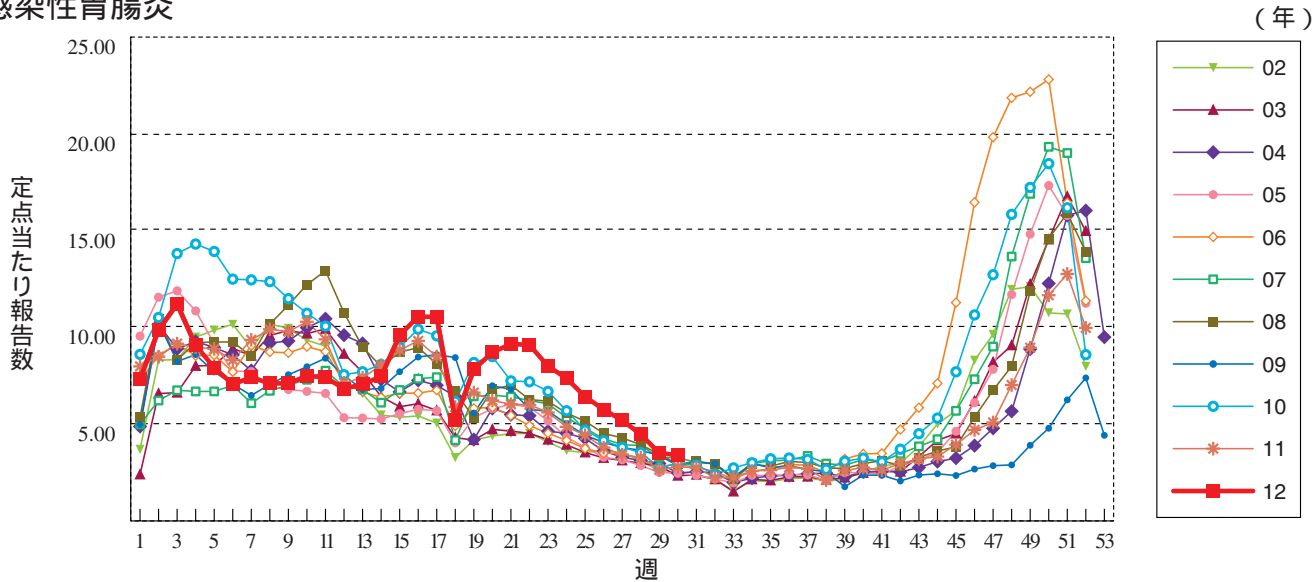
咽頭結膜熱



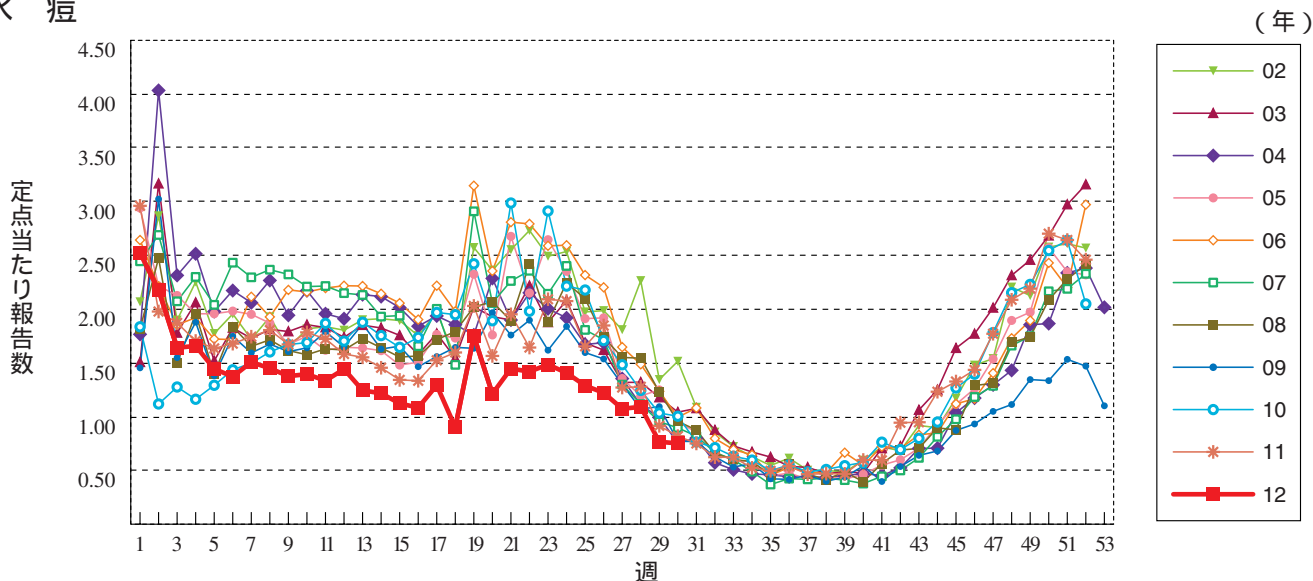
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



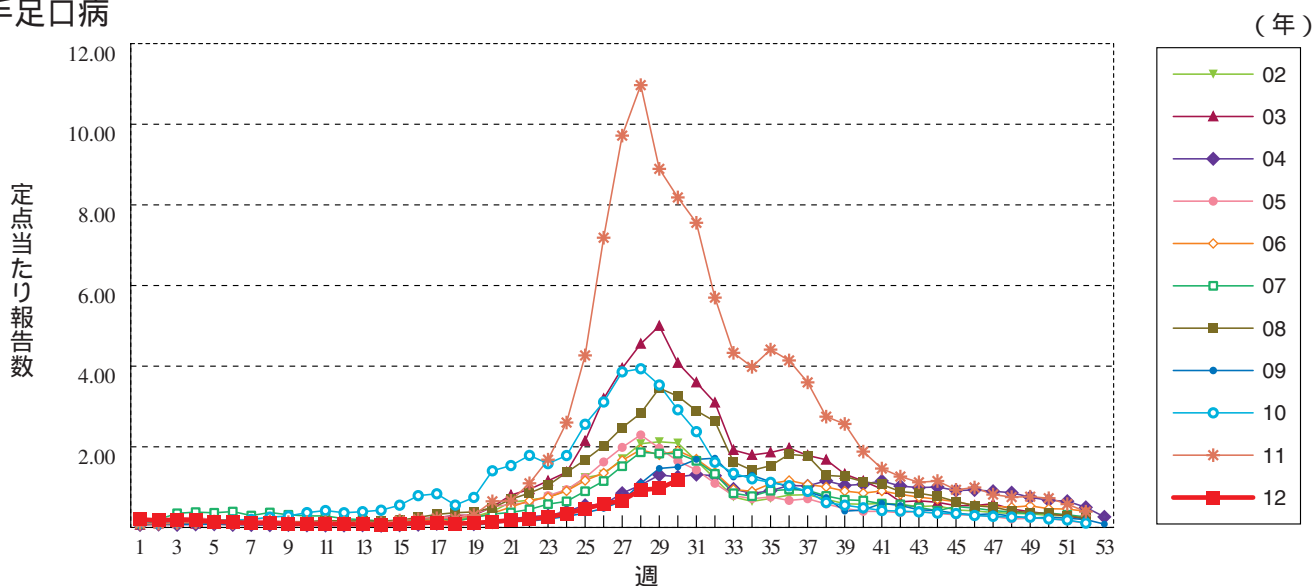
感染性胃腸炎



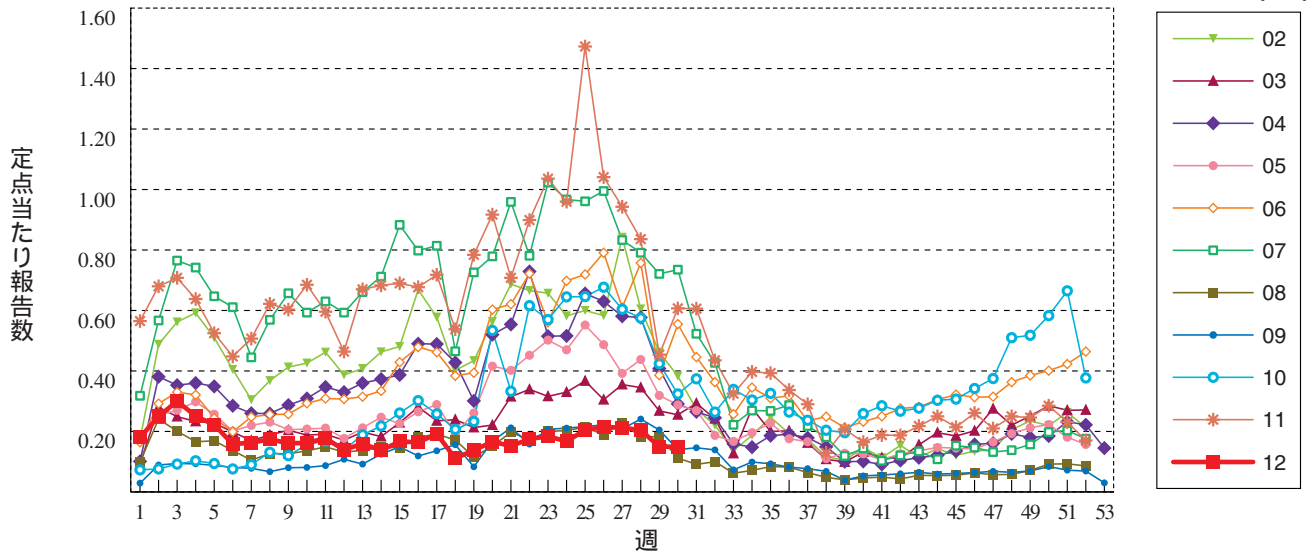
水痘



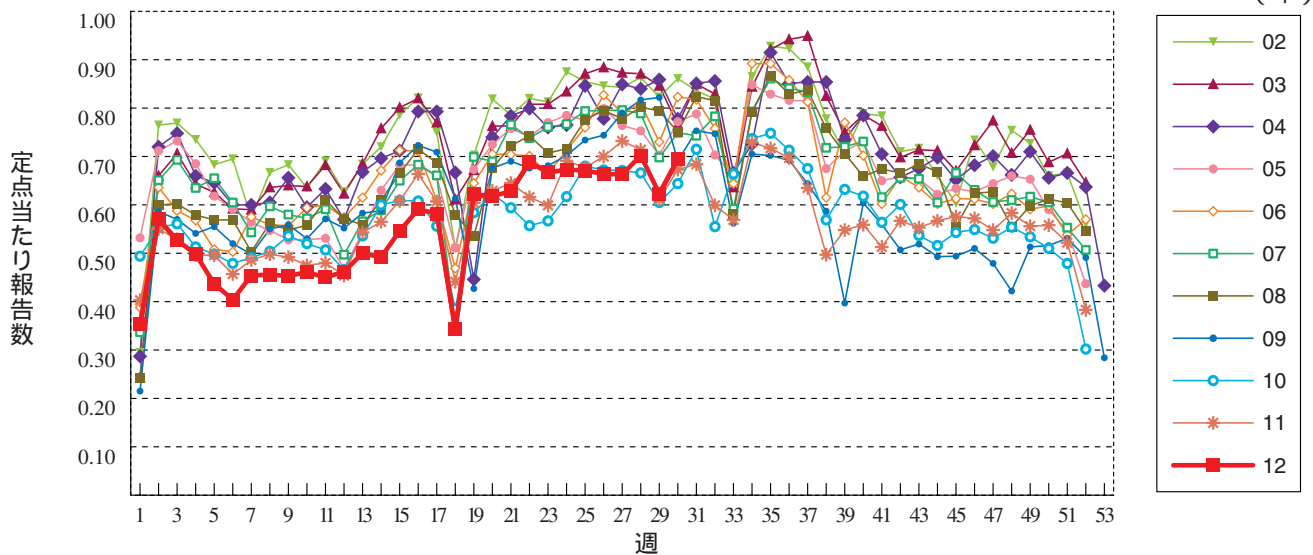
手足口病



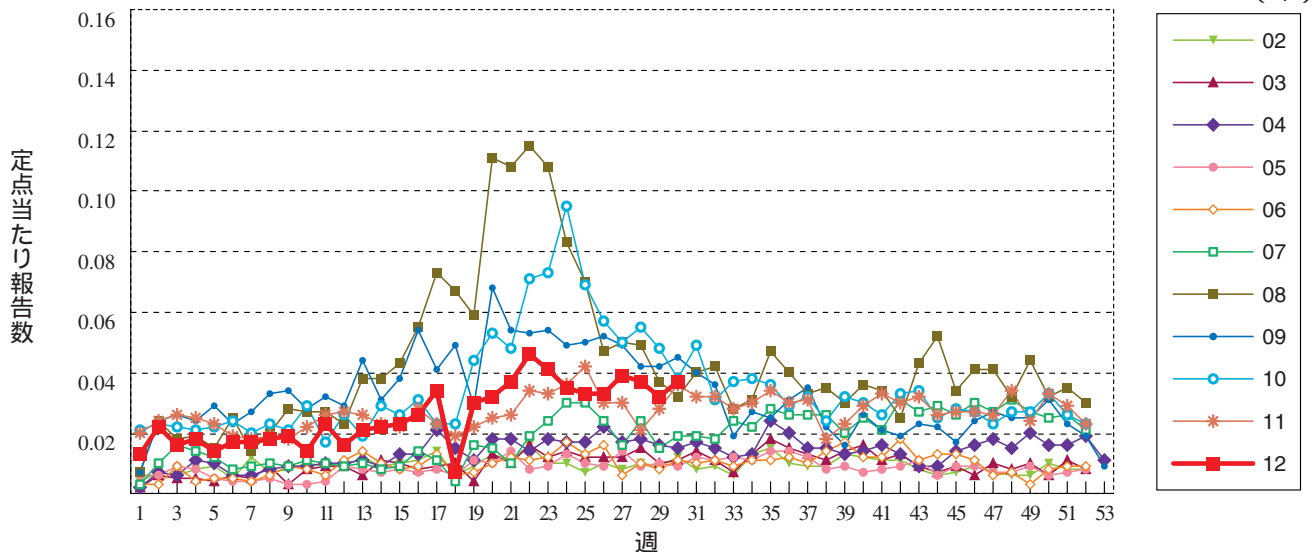
伝染性紅斑



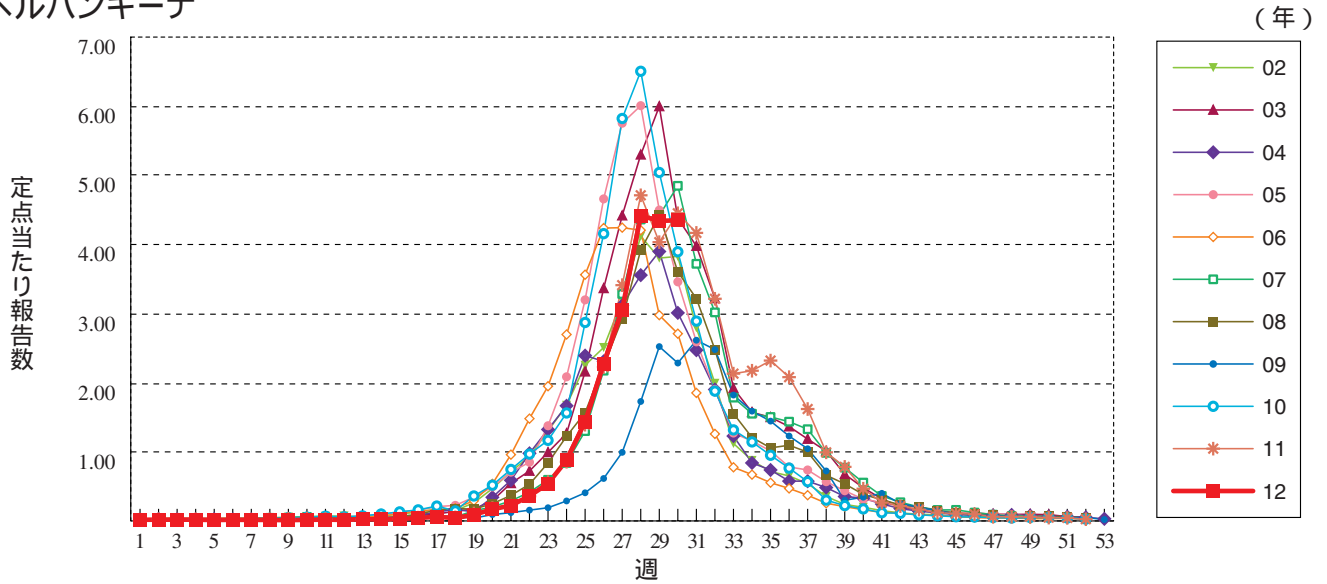
突発性発しん



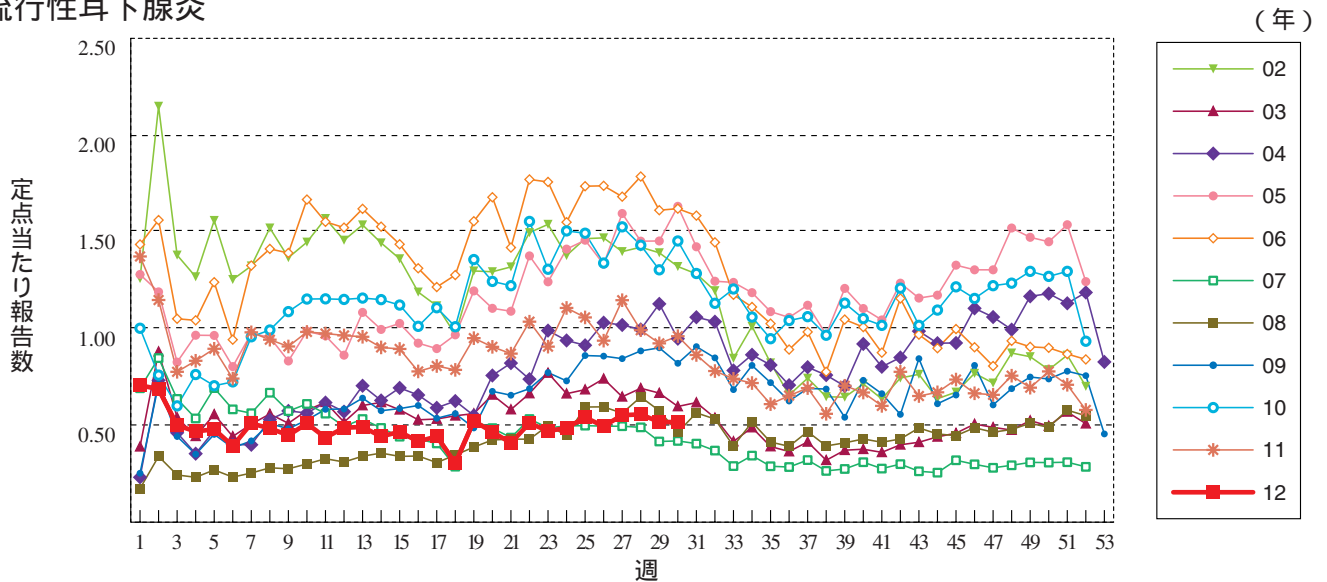
百日咳



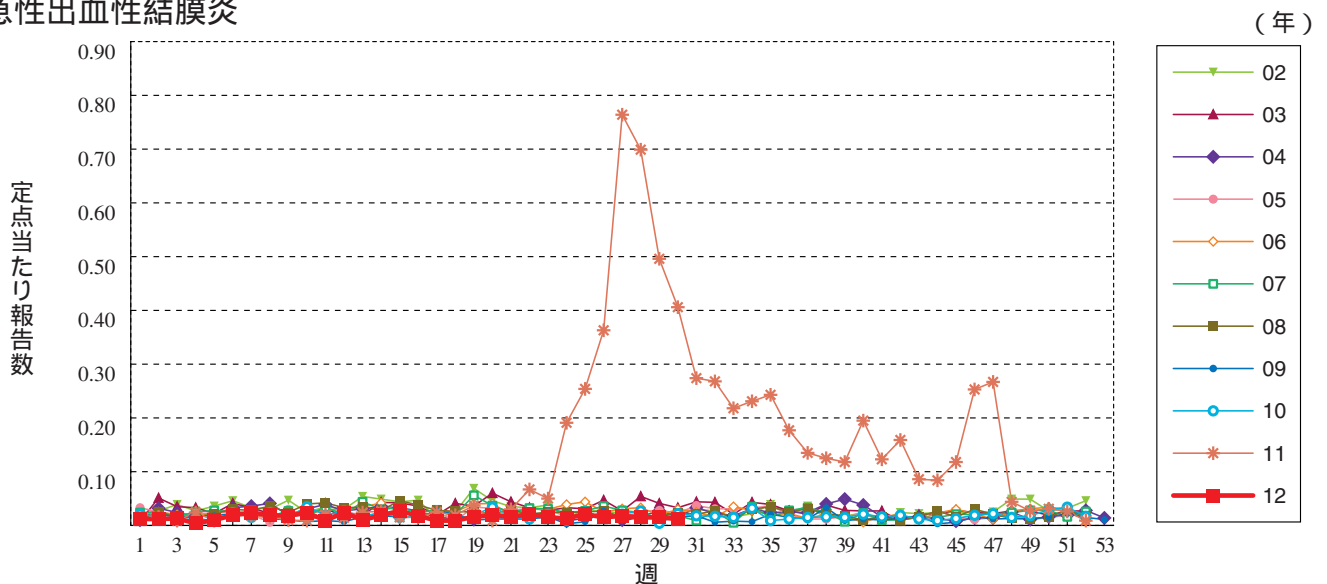
ヘルパンギーナ



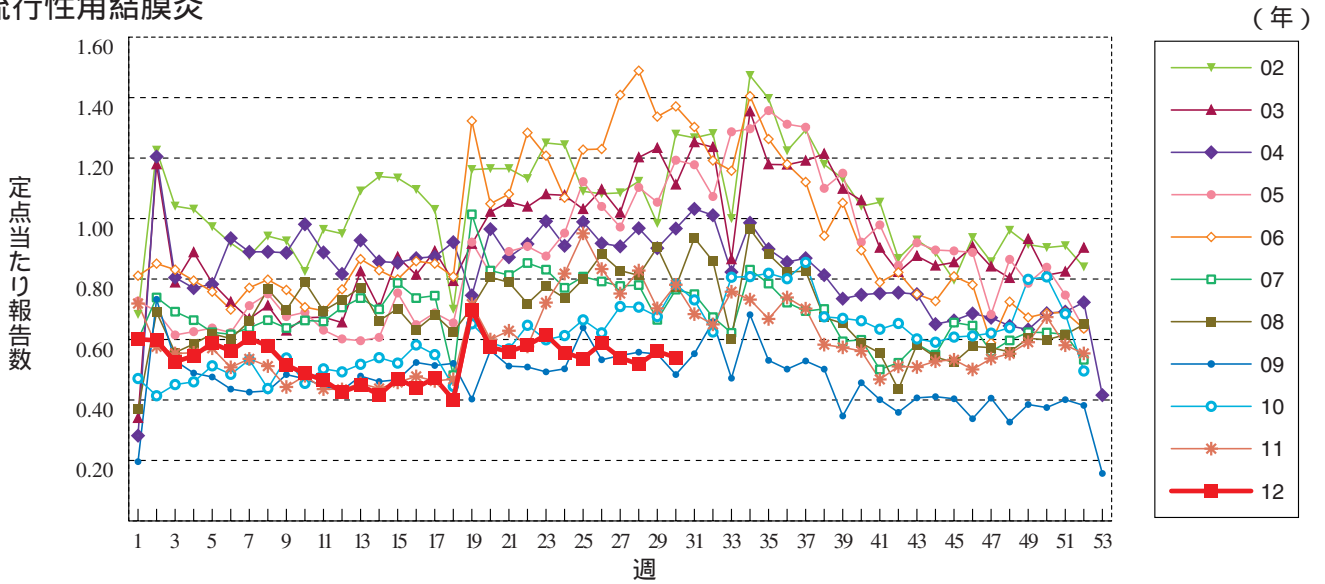
流行性耳下腺炎



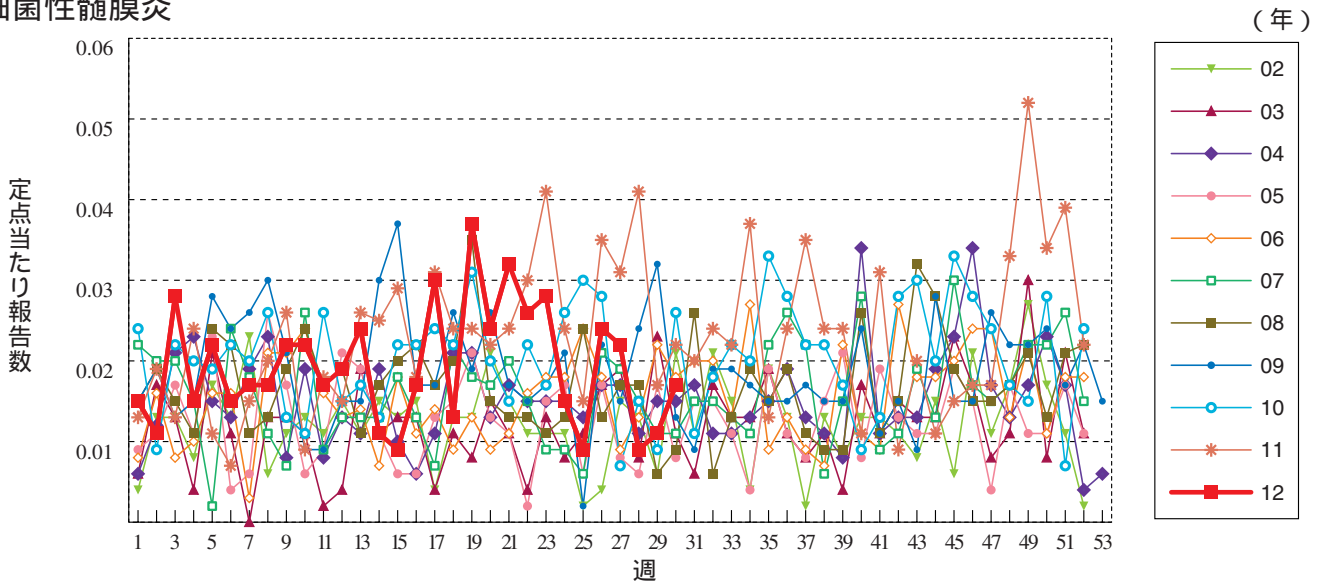
急性出血性結膜炎



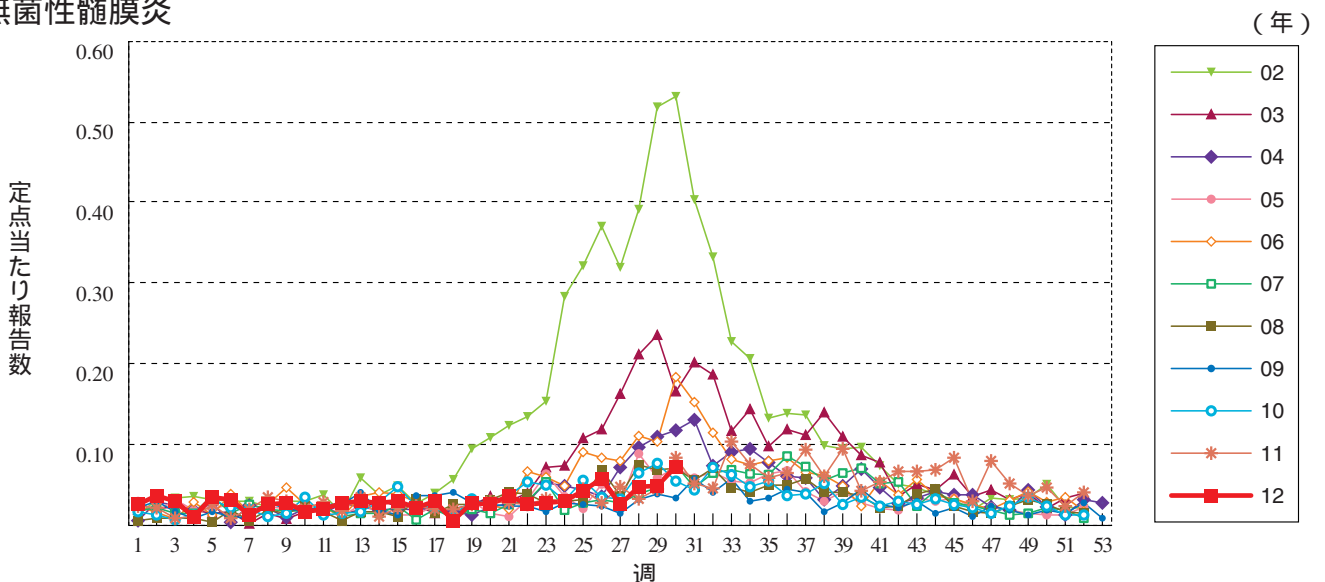
流行性角結膜炎



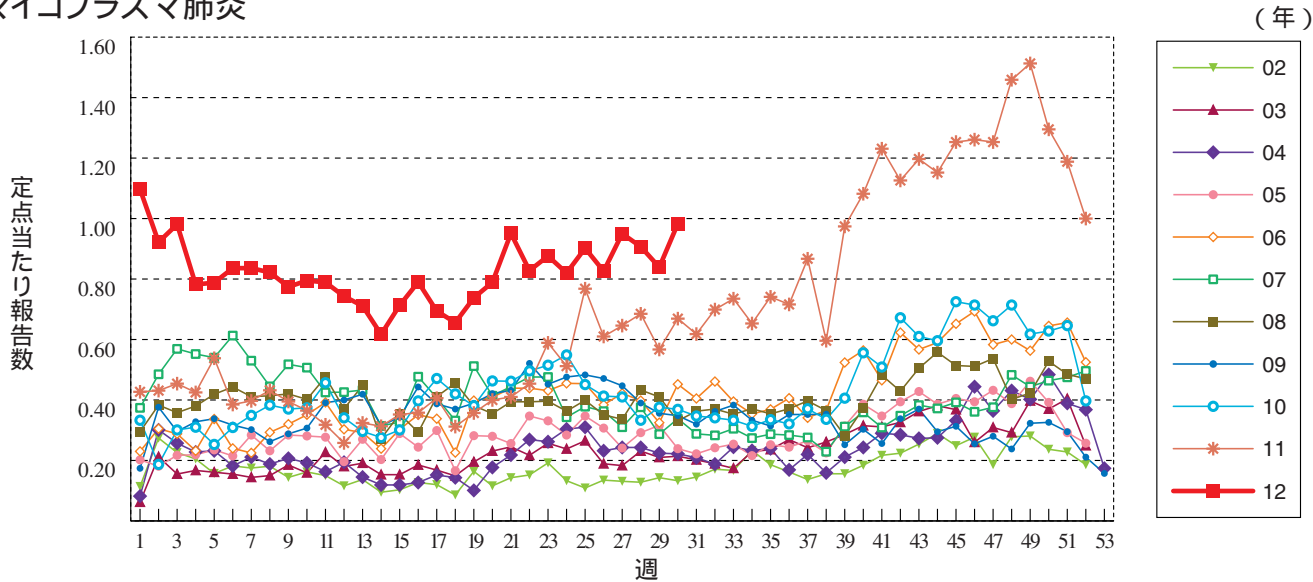
細菌性髄膜炎



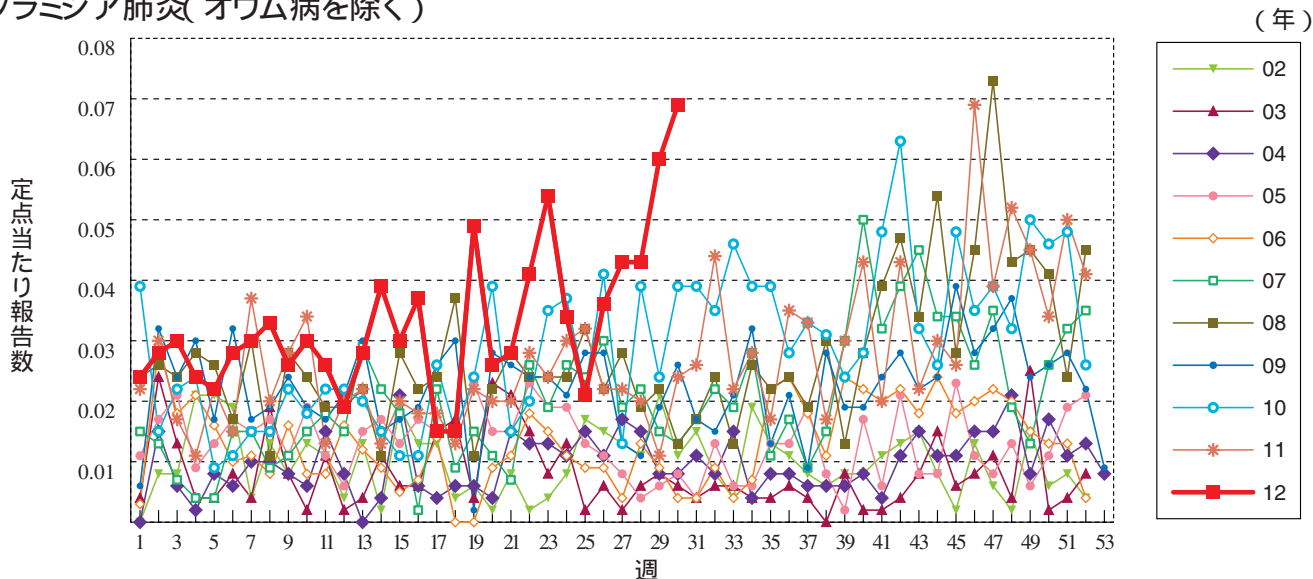
無菌性髄膜炎



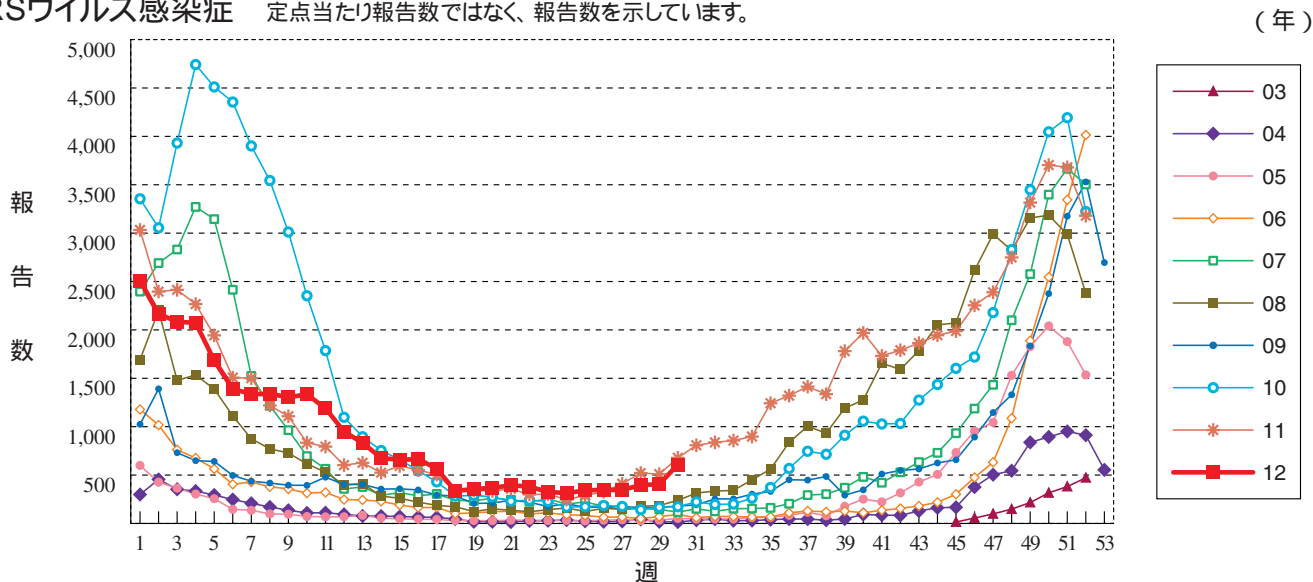
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





30週のデータ

注)表中の報告数は8月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年30週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	384	16671
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	502
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	257
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	173
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	227
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	116
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	112
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	143
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	360
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	202
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	153
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	781
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	825
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64	2607
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	1205
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	196
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	125
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	120
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	113
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	193
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	294
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	348
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1082
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	207
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	151
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	427
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	954
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	597
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	231
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	201
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	157
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	256
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	421
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	227
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	149
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	105
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	136
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	692
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	83
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	231
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	253
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	207
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	140
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	226
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	253

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	3	3	1	112	115	1367	-	14	-	10	2	81
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	36	-	-	-	-	-	31
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	34	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	43	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	8	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	13	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	19	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	42	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	50	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	7	91	-	5	-	4	-	11
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	3	4	68	-	3	-	1	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	11	-	-	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	19	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15	90	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	23	-	-	-	-	1	11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	25	4	179	-	1	-	4	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	37	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	40	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	35	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	106	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	43	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	79	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	115	-	6	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	1	192
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	10
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2012年30週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	79	-	-	-	-	-	-	1	48	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	39	-	-	-	5	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年30週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	18	485	1	8	-	-	9	487	1	126	1	237	-	6
北海道	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	1	15	-	4	-	11	-	-
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	
宮城県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	7	-	1	-	19	-	-	
栃木県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	
群馬県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	4	-	1	-	7	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	2	22	1	1	-	-	24	-	4	-	11	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	1	27	-	3	-	40	-	-
東京都	-	-	-	-	1	35	-	3	-	-	1	94	-	27	1	18	-	2
神奈川県	-	-	-	-	1	33	-	-	-	-	1	50	-	2	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	7	-	1	-	11	-	-	
富山県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	1	3	-	3	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	13	-	2	-	11	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	1	27	-	6	-	9	-	1
三重県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	10	1	2	-	2	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	8	-	-	-	3	-	-	
京都府	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	14	-	6	-	8	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	1	41	-	15	-	15	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	2	12	-	8	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	9	-	4	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	11	-	5	-	11	-	-	
山口県	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	8	-	1	-	2	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	21	-	11	-	4	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	2	-	7	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5	-	2	-	4	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	4	-	2	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	106	4	153	18	782	1	31	-	7	-	-	12	474	3	60	-	-
北海道	-	7	-	9	1	15	-	-	-	-	-	-	1	17	-	7	-	-
青森県	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	3	1	7	-	1	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	3	-	3	-	20	-	2	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-
栃木県	-	5	1	4	-	10	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	4	-	26	-	-	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	10	2	22	-	-	-	-	-	-	1	14	-	3	-	-
東京都	1	8	1	11	6	260	-	8	-	-	-	-	3	151	-	2	-	-
神奈川県	-	5	-	5	-	39	-	2	-	2	-	-	1	23	-	5	-	-
新潟県	-	4	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	1	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	4	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	1	3	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
愛知県	-	6	-	8	-	65	-	1	-	-	-	-	1	21	-	3	-	-
三重県	-	1	-	3	-	3	1	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	3	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	6	-	4	-	1	-	1	-	-	-	7	1	2	-	-
大阪府	-	3	-	2	5	102	-	5	-	-	-	-	3	60	-	1	-	-
兵庫県	-	4	-	4	-	24	-	1	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
広島県	-	1	-	2	-	15	-	2	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-
山口県	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
高知県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-	1	4	1	1	-	-
福岡県	-	4	1	12	1	25	-	2	-	2	-	-	-	19	-	3	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	3	1	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-	9	-	4	-	-
大分県	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
沖縄県	-	3	-	1	1	11	-	-	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年30週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	52	108	917	10	201
北海道	-	-	-	2	-	1
青森県	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1
山形県	-	-	-	3	-	-
福島県	-	1	1	2	2	7
茨城県	-	-	-	7	-	-
栃木県	-	-	1	3	-	10
群馬県	-	1	-	6	-	-
埼玉県	1	3	4	38	2	24
千葉県	-	4	8	27	-	14
東京都	-	5	28	206	5	48
神奈川県	-	4	13	70	-	16
新潟県	-	-	3	4	-	2
富山県	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	6	-	-
山梨県	-	1	-	4	-	3
長野県	-	-	2	7	-	-
岐阜県	-	1	-	1	-	5
静岡県	-	1	-	6	-	2
愛知県	2	2	2	19	-	33
三重県	-	-	1	6	-	-
滋賀県	-	-	2	12	-	1
京都府	-	2	1	25	-	1
大阪府	-	9	19	186	-	4
兵庫県	-	1	14	182	-	13
奈良県	-	-	1	11	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	1	5	-	6
広島県	-	2	2	9	1	4
山口県	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	1
高知県	-	-	1	1	-	-
福岡県	-	4	1	18	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	1
熊本県	1	4	-	2	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	1
沖縄県	-	1	3	32	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1268	0.26	1530	0.49	3618	1.15	10654	3.39	2359	0.75	3677	1.17	469	0.15	2178	0.69	117	0.04
北海道	-	-	99	0.69	330	2.31	272	1.90	174	1.22	79	0.55	5	0.03	64	0.45	6	0.04
青森県	2	0.03	11	0.27	38	0.93	42	1.02	30	0.73	285	6.95	3	0.07	16	0.39	1	0.02
岩手県	-	-	29	0.73	68	1.70	114	2.85	19	0.48	84	2.10	37	0.93	24	0.60	3	0.08
宮城県	-	-	20	0.34	82	1.41	264	4.55	66	1.14	309	5.33	17	0.29	46	0.79	-	-
秋田県	-	-	14	0.40	26	0.74	130	3.71	10	0.29	24	0.69	-	-	19	0.54	-	-
山形県	-	-	18	0.60	60	2.00	128	4.27	35	1.17	32	1.07	9	0.30	25	0.83	1	0.03
福島県	2	0.03	16	0.33	49	1.02	75	1.56	44	0.92	109	2.27	6	0.13	27	0.56	4	0.08
茨城県	-	-	25	0.33	66	0.88	156	2.08	41	0.55	42	0.56	5	0.07	31	0.41	1	0.01
栃木県	-	-	17	0.35	38	0.79	71	1.48	41	0.85	25	0.52	3	0.06	35	0.73	1	0.02
群馬県	-	-	37	0.62	46	0.77	167	2.78	33	0.55	63	1.05	8	0.13	36	0.60	5	0.08
埼玉県	3	0.01	101	0.66	250	1.63	618	4.04	118	0.77	220	1.44	9	0.06	128	0.84	3	0.02
千葉県	3	0.01	55	0.42	207	1.57	445	3.37	118	0.89	91	0.69	19	0.14	90	0.68	3	0.02
東京都	6	0.01	165	0.63	386	1.48	1051	4.03	175	0.67	326	1.25	33	0.13	205	0.79	21	0.08
神奈川県	6	0.02	143	0.71	169	0.84	671	3.32	182	0.90	251	1.24	38	0.19	158	0.78	4	0.02
新潟県	18	0.19	26	0.43	53	0.88	79	1.32	49	0.82	679	11.32	11	0.18	38	0.63	6	0.10
富山県	-	-	20	0.69	49	1.69	76	2.62	15	0.52	36	1.24	4	0.14	12	0.41	-	-
石川県	1	0.02	8	0.28	30	1.03	65	2.24	19	0.66	26	0.90	1	0.03	12	0.41	1	0.03
福井県	-	-	22	1.00	28	1.27	85	3.86	14	0.64	133	6.05	-	-	16	0.73	-	-
山梨県	-	-	13	0.54	27	1.13	73	3.04	13	0.54	11	0.46	8	0.33	12	0.50	1	0.04
長野県	2	0.02	17	0.31	92	1.70	193	3.57	47	0.87	240	4.44	21	0.39	33	0.61	1	0.02
岐阜県	1	0.01	7	0.14	15	0.29	132	2.59	32	0.63	12	0.24	26	0.51	30	0.59	-	-
静岡県	1	0.01	32	0.36	89	1.00	334	3.75	56	0.63	30	0.34	7	0.08	59	0.66	3	0.03
愛知県	3	0.02	32	0.18	133	0.73	645	3.56	117	0.65	30	0.17	45	0.25	131	0.72	10	0.06
三重県	-	-	32	0.71	40	0.89	193	4.29	27	0.60	20	0.44	2	0.04	37	0.82	-	-
滋賀県	-	-	11	0.34	31	0.97	90	2.81	22	0.69	17	0.53	-	-	33	1.03	-	-
京都府	-	-	43	0.59	63	0.86	203	2.78	51	0.70	24	0.33	4	0.05	47	0.64	-	-
大阪府	6	0.02	92	0.47	285	1.45	688	3.49	181	0.92	122	0.62	32	0.16	144	0.73	6	0.03
兵庫県	3	0.02	50	0.39	106	0.82	495	3.84	113	0.88	33	0.26	15	0.12	78	0.60	3	0.02
奈良県	-	-	15	0.43	18	0.51	71	2.03	9	0.26	3	0.09	1	0.03	5	0.14	2	0.06
和歌山県	-	-	12	0.39	7	0.23	89	2.87	29	0.94	10	0.32	1	0.03	21	0.68	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	18	0.95	63	3.32	14	0.74	3	0.16	3	0.16	13	0.68	2	0.11
島根県	-	-	8	0.35	10	0.43	135	5.87	9	0.39	-	-	2	0.09	19	0.83	-	-
岡山県	2	0.02	14	0.26	23	0.43	233	4.31	44	0.81	37	0.69	10	0.19	41	0.76	3	0.06
広島県	-	-	44	0.61	59	0.82	213	2.96	40	0.56	16	0.22	10	0.14	57	0.79	6	0.08
山口県	-	-	21	0.44	82	1.71	182	3.79	9	0.19	7	0.15	9	0.19	45	0.94	1	0.02
徳島県	-	-	15	0.65	25	1.09	85	3.70	36	1.57	5	0.22	9	0.39	30	1.30	-	-
香川県	-	-	8	0.27	11	0.37	118	3.93	17	0.57	9	0.30	1	0.03	22	0.73	-	-
愛媛県	-	-	12	0.32	85	2.30	172	4.65	22	0.59	8	0.22	18	0.49	34	0.92	-	-
高知県	-	-	3	0.10	16	0.53	61	2.03	20	0.67	9	0.30	15	0.50	16	0.53	4	0.13
福岡県	26	0.13	51	0.43	108	0.90	559	4.66	111	0.93	19	0.16	2	0.02	104	0.87	3	0.03
佐賀県	4	0.10	11	0.48	18	0.78	39	1.70	12	0.52	2	0.09	-	-	10	0.43	-	-
長崎県	3	0.04	7	0.16	36	0.82	104	2.36	28	0.64	5	0.11	-	-	27	0.61	1	0.02
熊本県	1	0.01	41	0.85	41	0.85	225	4.69	25	0.52	20	0.42	5	0.10	36	0.75	-	-
大分県	3	0.05	16	0.44	57	1.58	241	6.69	30	0.83	8	0.22	3	0.08	22	0.61	7	0.19
宮崎県	2	0.03	20	0.56	50	1.39	206	5.72	17	0.47	84	2.33	-	-	49	1.36	-	-
鹿児島県	20	0.22	69	1.25	75	1.36	236	4.29	25	0.45	17	0.31	6	0.11	27	0.49	-	-
沖縄県	1150	19.83	5	0.15	23	0.68	67	1.97	20	0.59	62	1.82	6	0.18	14	0.41	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	13648	4.35	1624	0.52	8	0.01	368	0.54	8	0.02	34	0.07	458	0.98	32	0.07	609
北海道	284	1.99	20	0.14	-	-	8	0.28	-	-	-	-	11	0.48	1	0.04	20
青森県	56	1.37	16	0.39	-	-	6	0.55	-	-	-	-	7	1.17	-	-	13
岩手県	107	2.68	53	1.33	-	-	2	0.14	-	-	-	-	25	1.32	-	-	8
宮城県	204	3.52	81	1.40	-	-	5	0.42	-	-	-	-	17	1.42	1	0.08	27
秋田県	30	0.86	3	0.09	-	-	1	0.14	1	0.13	-	-	1	0.13	-	-	12
山形県	201	6.70	34	1.13	-	-	2	0.25	1	0.10	1	0.10	2	0.20	1	0.10	5
福島県	197	4.10	26	0.54	-	-	9	0.75	-	-	-	-	20	2.86	14	2.00	12
茨城県	131	1.75	23	0.31	1	0.06	23	1.35	-	-	2	0.15	17	1.31	-	-	5
栃木県	111	2.31	16	0.33	-	-	7	0.58	-	-	-	-	32	4.57	4	0.57	7
群馬県	288	4.80	56	0.93	-	-	12	0.86	-	-	-	-	30	3.75	-	-	1
埼玉県	1020	6.67	60	0.39	1	0.02	14	0.33	-	-	2	0.22	19	2.11	-	-	25
千葉県	761	5.77	42	0.32	1	0.03	17	0.49	-	-	-	-	15	1.67	1	0.11	18
東京都	1983	7.60	76	0.29	-	-	23	0.62	2	0.08	4	0.16	22	0.88	-	-	61
神奈川県	1287	6.37	72	0.36	2	0.05	40	0.91	-	-	1	0.13	7	0.88	-	-	28
新潟県	350	5.83	28	0.47	-	-	4	0.40	-	-	-	-	7	0.54	4	0.31	3
富山県	193	6.66	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-	1
石川県	186	6.41	9	0.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.20	-	-	2
福井県	77	3.50	6	0.27	-	-	6	2.00	-	-	-	-	3	0.50	-	-	2
山梨県	36	1.50	12	0.50	-	-	1	0.11	-	-	-	-	9	0.90	1	0.10	2
長野県	287	5.31	11	0.20	1	0.09	3	0.27	-	-	1	0.09	17	1.55	-	-	-
岐阜県	127	2.49	67	1.31	-	-	2	0.18	-	-	-	-	8	1.60	-	-	5
静岡県	484	5.44	63	0.71	-	-	8	0.36	-	-	-	-	6	0.67	-	-	14
愛知県	623	3.44	118	0.65	-	-	7	0.21	-	-	1	0.07	36	2.57	-	-	14
三重県	207	4.60	42	0.93	-	-	2	0.17	-	-	1	0.11	3	0.33	-	-	3
滋賀県	140	4.38	7	0.22	-	-	5	0.63	-	-	-	-	8	1.14	-	-	-
京都府	141	1.93	23	0.32	-	-	10	0.56	-	-	1	0.14	8	1.14	-	-	-
大阪府	783	3.97	76	0.39	-	-	11	0.23	-	-	2	0.13	20	1.25	-	-	49
兵庫県	611	4.74	62	0.48	-	-	6	0.17	-	-	4	0.36	6	0.55	2	0.18	6
奈良県	87	2.49	4	0.11	-	-	-	-	-	-	2	0.33	1	0.17	-	-	2
和歌山県	216	6.97	11	0.35	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	5	0.45	1	0.09	2
鳥取県	69	3.63	4	0.21	-	-	7	2.33	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-
島根県	30	1.30	8	0.35	-	-	-	-	-	-	3	0.38	8	1.00	-	-	2
岡山県	164	3.04	22	0.41	-	-	3	0.25	-	-	-	-	3	0.60	-	-	2
広島県	116	1.61	23	0.32	1	0.05	17	0.89	1	0.05	3	0.14	8	0.38	-	-	11
山口県	207	4.31	32	0.67	-	-	5	0.56	-	-	-	-	12	1.33	-	-	8
徳島県	32	1.39	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
香川県	127	4.23	4	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	76	2.05	13	0.35	-	-	7	0.88	-	-	-	-	5	0.83	-	-	7
高知県	73	2.43	7	0.23	-	-	-	-	-	-	1	0.13	4	0.50	1	0.13	-
福岡県	329	2.74	127	1.06	-	-	19	0.73	-	-	-	-	3	0.20	-	-	87
佐賀県	77	3.35	16	0.70	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	108	2.45	36	0.82	-	-	3	0.38	-	-	1	0.08	6	0.50	-	-	-
熊本県	222	4.63	34	0.71	-	-	28	3.11	2	0.13	1	0.07	3	0.20	-	-	-
大分県	226	6.28	61	1.69	-	-	-	-	-	-	1	0.09	4	0.36	-	-	3
宮崎県	260	7.22	45	1.25	-	-	3	0.50	-	-	-	-	3	0.43	-	-	11
鹿児島県	313	5.69	50	0.91	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.17	-	-	55
沖縄県	11	0.32	9	0.26	1	0.10	35	3.50	-	-	2	0.29	16	2.29	1	0.14	73

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年30週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年30週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第30号 2012年8月10日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。